

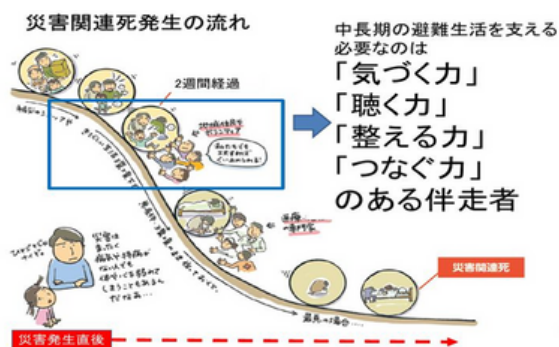
だれもが個性や能力を生かして自分らしく暮らせる地域社会をつくるために

NPO法人 男女平等参画推進みなと／Gender Equality of Minato (GEM) URL : <https://gemminato.com>

EVENT REPORT 男女平等参画フェスタ inリーブラ 2025 講座レポート



▲会場の様子



▲講師のパワーポイントより

今年度のリーブラフェスタでの講座は、6月29日（日）午前に開催しました。タイトルは「**知っていますか？ 大震災の落とし穴 ～よりよく生き延びるための女性視点～**」。講師には、一般社団法人 男女共同参画地域みらいねっと代表理事の小山内世喜子さんをお迎えしました。小山内さんは、能登半島地震の発災直後から現地の避難所で10回にわたって支援活動を重ねられた経験をお持ちの方です。

講座の目的は、過去の大震災の教訓をもとに、避難所などで見落とされがちだった女性視点の重要性を共有し、同じような困りごとを繰り返さないために、一人ひとりが平時からできることを考えること。講義では、過去の震災において避難所リーダーの多くが男性だったため、女性や子どものニーズが十分に反映されなかったこと、炊き出し等の役割が女性に偏り過重な負担となっていたこと、性暴力や性被害が発生していたことなどが課題として挙げられました。解決策として、女性リーダーの必要性、プライバシーが守られる空間の確保、そして周囲の小さな変化に「気づく力」が大切であるとお話しされました。最後に、平時にできていないことは、災害時にはなおさらできないため、日ごろからジェンダー平等を推進し、民間団体と行政がそれぞれの強みを活かして連携していくことが重要であると強調されました。

港区の防災対策は？ | 防災課にお話をうかがいました

港区では、誰もが安全で安心できる避難生活を送れるよう、さまざまな環境整備が進められています。具体的には、施設内の感染症対策をはじめ、備蓄品の保管スペースの確保、更衣室としても使える「テント」や、性犯罪防止など安全に配慮した「女性専用トイレ」など。さらに、生理用品、授乳用ケープ、化粧品、下着といった女性に必要な備蓄品の充実も図られているとのこと。女性の視点を取り入れた避難所運営を目指し各支所と連携して準備を進められています。地域の防災組織や防災訓練にも、女性の参画を促進したいとお話をしてくださいました。お話をうかがい、これからの防災の「カギ」は女性の参画、女性が関わることで避難所が変わることが確認できました。

字てがみコーナーも盛況 | 今年のテーマは「愛」

リーブラフェスタでは、毎年恒例の字てがみコーナーも出展しました。たくさんの方々が参加し、心の中にある様々な想いを漢字から紡ぎ出し、表現していました。はじめて「墨」に触れる子どももいました。筆を持つ手が可愛らしく、帰りのキャンディプレゼントに思わずニッコリです。





どこに行ってもなんとなく居場所がなくて、自分がホッとできる場所が見つからない…そんな気持ちになることがあると思います。でも「居場所がない」と感じたときこそ自分の「こころの居場所」を見つけるチャンスかもしれません。GEMでは、しゃべり場・カフェ工房・ランチ・ヨガなどの他に、今年度から「相談る一む・オリーブ」「アートセラピー」のプログラムを始めました。気軽に相談できる「相談る一む・オリーブ」は孤独感や不安に押しつぶされそうになった時、こころの声を聴く場としてご利用できます。「アートセラピー」は自己表現を行うことで内面的な気づきを得ることができるのでおすすめです。

olive PHOTO

ほっとすぺーす・oliveではこんなことをしています。

おいしいひととき



毎月色々なメニューを楽しめます
写真はおいしいたけのこごはん！

くつろぎのスペース



テーブルを囲んで、おしゃべり
したりお茶したり・・・

手を動かしてすっきり



今年度から始まったアートセラピー
毛糸で編みぐるみを作りました。

相談る一む・オリーブ ～解決にならなくても、一人で抱えこまず、一緒に話し、考えましょう～

相談る一む・オリーブは、GEMの居場所の一環として、今年度から開設しました。

開催は、月に1回、第2水曜日、または木曜日、①13:00～14:00、②15:00～16:00の2枠です。

初利用の際には少し長めの設定をしていて、ちょっと話を聞いて欲しいという時に、堅苦しくなく、気軽に、居心地よく利用できるようにとの思いで「相談る一む」と名付けました。

対等な関係の中で対話をしていくと、来談者ご自身の整理が進み、探していたものが見つかり、新しい方向に進んでいきます。今年は異常な猛暑でしたが、毎回申し込みがあり、担当者一同、相談る一むを開いてよかったと感じています。

ちょっと一息、スタッフボイス ～DVという言葉を見直してみませんか？～



DVとは配偶者（事実婚や元配偶者も含む）など親密な関係にある男女間でふるわれる暴力のことで、実際相手からのDVのことを日本では「デートDV」と呼んでいます。DV＝家庭内暴力だから、親子間の暴力もDVと呼ぶのでは？と思われがち。親から未成年の子への暴力は児童虐待。家庭内で起こる暴力は他にも様々で法律が追いついていないようです。支援者の中でもDVという言葉が混同して使われているように感じます。今一度、DVという言葉の使い方を見直してみませんか？

INFO

秋のサポートグループご案内

サポートグループオリーブは、夫や恋人からの暴力を経験している（いた）女性が、安全な場で、自分の気持ちを語り合う場です。



NOTICE

私たちと一緒に活動しませんか？

会員になって私たちと一緒に活動しませんか？イベントや講座の企画、仲間づくり、学習会への参加など。ボランティアスタッフも募集しています。



日時

2025年 10/19、11/9、11/23、12/7
2026年 1/11、1/25、2/22
いずれも日曜日、13:45～16:00

会場

東京都港区周辺（申込後にお知らせ）



活動へのご寄付をお願いします

口座番号

ゆうちょ銀行 10060-90261721

口座名

特定非営利活動法人男女平等参画推進みなと